

令和4年度の活動の振り返りと令和5年度の取り組みについて協議しました！

開催内容

※第1層：大崎市全域 第2層：地域自治組織単位

・事務局より、令和4年度の活動報告と生活支援体制整備事業未実施地域調査について報告をしました。その後、令和5年度の取り組みについて協議を行いました。

令和4年度活動報告

- ・日常生活の困りごと調査のため高齢者へのアンケートを継続実施した。困りごと有り41%，無し59%。来年度も調査する。
- ・研修会や講演会などを通して、地域の支え合いの仕組みづくりに関して普及啓発を図った。
- ・生活支援体制整備事業の未実施地域へ、事業説明とヒアリング調査を実施した。事業の必要性について認識頂いた。実施していない理由が多かったのがコーディネーターの担い手が見当たらないこと。



令和5年度に向けた取り組みの協議

- ・アンケートで困りごと無しと回答した人の工夫ポイントを住民や関係者間で共有できると良い。
- ・様々な事業者や民間企業では、多様な高齢者福祉に関するサービスを実施している。必要な時に必要なサービスを提供できるような体制づくりが必要。
- ・市全域に地域住民主体の支え合いの仕組みが構築されるよう、引き続き第1層協議体の場などで、関係者間で協議をしていくことが重要。